

環境記者活躍中

平塚二丁目「花いっぱい運動」

環境記者の志賀さんは平塚二丁目の「花いっぱい運動」に参加しました。

●「底面貯水型水やり不要ECOプランター」が道路に面した玄関先などに置かれました。

このプランターは二段式になっており、上段は普通のプランターと同じですが、下段に貯水槽があり、一週間に一回程度の雨が降れば水やりは不要だそうです。またプランターの素材は自然素材であるコーヒー豆を使用し、底面から空気を取り入れ、植物の生育を助けます。また最終的には燃えるごみとして焼却処理可能で、CO2の排出削減が可能なECOプランターとのことでした。

●屋上緑化（平塚二丁目町会の会館屋上）

乾燥に強く、雨水だけでも育つ常緑キリンソウを植えました。常緑キリンソウは一年中緑色の葉をつけるため、屋上緑化、壁面緑化、道路緑化などに役立っています。常緑キリンソウは江戸時代には飢饉に備え、若葉を塩茹でして乾燥させ、保存食に使っていたともいわれています。



平成21年11月下旬



平成22年3月中旬

●ガーデニング専門家による実技講習会を実施しました。

3回目の講習会の模様をご紹介します。今回はハンギングプランターの植栽で、今では町会会館前をきれいに飾ってくれています。



講習会の模様と作品

大切な土壌作り



土壌の熟成スペースを京陽公園に設置し、生ごみ処理機で処理した生ごみ再生土壌づくりをしています。

みどりと花のボランティアとして

環境記者の小野さんは、聖蹟公園内の花壇においてみどりと花のボランティアのチームとして参加しています。季節に応じて年4回の花の植替えと、適宜水撒きをしながら花壇を管理し、公園の清掃美化活動をしていくそうです。今回の活動内容は次の通りでしたがきれいになりました。

花同士の間隔を10cm程度にして植え、植えた後は花屋さんに指導していただき水撒きをしました。大量の水を撒いたことに驚いたとのことでした。



みどりと花のボランティア募集中

緑ゆたかな花のあるまちづくりを進めるために、品川区立公園・児童遊園・道路などの維持管理や花壇のお手入れなどをしていただける方を募集しています。また、区有施設内の花壇管理をしていただける方も対象となります。是非ご応募ください。必要な道具、材料の一部を区が提供します。詳細は水とみどりの課まで（TEL：03-5742-6799）

品川区環境情報活動センター 今後のイベント予定

①「よく分かる『食料問題にも環境問題がかかわっている話』」

世界の人口増加や経済成長による食料生産と供給の問題は、地球温暖化や環境汚染などの一因にもなっています。

日時／7月19日（祝）14時～16時

対象／一般

②「トラと生きる・ネコと暮らす～街・動物園から野生まで」

動物園の実例から、ネコ類を中心に環境に適応した分化や人間の活動が動物に及ぼす影響についての話です。

日時／8月26日（木）14時～16時

対象／一般（親子での参加歓迎）

◎夏休みこども環境講座

①「自然たいけん隊」

自然とのふれ合いから生きものについて楽しみながら学びます。

日時／7月27日、28日、31日

（13時30分～15時30分）

②「キッチンからはじめるエコロジー」

身近な食を通して、楽しみながら環境を考えます。

買物・調理・片付けなどすべての内容で環境に配慮した料理を作りながら環境について学びます。

日時／8月9日、10日、11日（14時～16時）

①②共通

対象／小学生

（3年生以下は保護者同伴）

講座の名称はいずれも仮称です。応募方法等については「広報しながわ」や「品川区環境情報活動センター」のホームページに後日掲載します。

しながわECOだより2010年度Vol.1

発行：品川区都市環境事業部

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成22年6月25日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう



品川区環境情報活動センターだより

2010年度 Vol.1

自然・環境と花・草・木

わたしたちは元気で明るく楽しい生活をするとともに、自然や環境を大切にしようと心がけています。春になれば陽射しは強くなり、花が咲き木々が芽吹きますが、これは当たり前のことでしょうか。自然があり、環境が守られているからこそ花は美しさを見せ、草木の緑が鮮やかになるのです。植物はそんな自然と密接に関係し、わたしたちの生活に潤いを与えてくれています。

ECOフェスティバル 2010

5月16日（日）まぶしいほどの日差しの中、しながわ中央公園で「しながわECOフェスティバル2010」が華やかに開催されました。



濱野区長の挨拶の後、資源リサイクル活動等を推進してきた25団体に対し感謝状と記念品が贈呈されました。

●模擬店

品川区商店街連合会を中心に食の店が出店しました。焼きそば、カルビ丼、カレー、わた菓子、飲物、かき氷などが販売され、昼食時には長蛇の列ができるほどの盛況ぶりでした。このイベントではマイ箸運動を推進しており会場内では国産間伐材・端材からできた割り箸を1膳10円で販売しました。また容器は環境に配慮し、天然草を使ったパックやトレイを使用しました。



●山北町、早川町の物産展

品川区と交流のある神奈川県山北町や山梨県早川町の地元で採れた新鮮な野菜や加工品などの物産展が開かれ、多くの人が買い求めていました。



●くらしを守る青空市

品川区消費者団体連絡会による恒例の青空市です。有機・減農薬栽培の野菜と果物の販売があり、人気のため午後の早い時間に売り切れてしまいました。



●ごみ、資源回収

ごみ・資源回収場所では「もやすごみ」「エコ容器」などが、高校生のみなさんの協力を得てきれいに回収されていました。

●ステージアトラクション

和太鼓演奏（大井権理太鼓保存会）、環境「ほっ」とバラエティ（HORIPRO）、創作竹楽器演奏（東京楽竹団）、突撃!!リサーチャーズ



しなココ（ケブルレビ・品川）、エコレンジャーショー（朋優学院高等学校）、Love&Peace（イベント結果報告・83運動みんなで歌おう）など、各種アトラクションが観客の盛んな喝采を浴びていました。

●手作り環境工作教室

ペットボトルを利用したエコ花ポット作り、アクリル毛糸でエコたわし作り、ケナフで紙作りなど環境を考えながら楽しい工作が体験できました。



●エコな乗り物の乗車体験

環境に優しい乗り物の乗車体験に、みなさん列を作って順番を待っていました。

- ①自転車タクシー：排出ガスゼロの「ペロタクシー」
- ②燃料電池車：水しか排出しない次世代エコカー
- ③ソフトQカー：スピード制限できる電気自動車
- ④電気自動車：環境に優しい電気自動車



●フリーマーケット

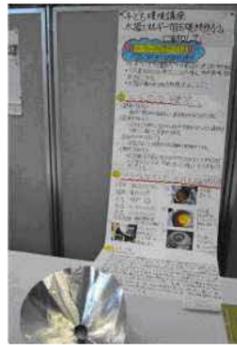
グランドの周りではフリーマーケットが開かれ、50店ほどが出店しました。掘り出し物もあり注目を集めていました。



●こども環境作品展

「子ども環境講座『太陽エネルギーで目玉焼きを作ろう』に参加して」と題して講座に参加してくれたお友だちが受講した後での実験報告を発表してくれました。

その感想として、調理には結構時間がかかり「日本ではいつでもガスが使えて便利だけど、使えない国ではとても大変だと分かりました」、また「早ね早起きして、なるべく電気を使わないようにしたりして、エコ生活をしたいです」と書いてくれました。



太陽エネルギー見本市 が同時開催されました

●ソーラー工作教室

太陽光で動く「ソーラーかめめ」を親子で作りました。



●太陽エネルギーを活用した発電セミナー

太陽光発電と高効率給湯器を組み合わせることによるメリットなどについて紹介がありました。

(会場：環境情報活動センター)

●各種情報の提供

太陽光(熱)利用機器システム、住宅版エコポイント、区・都・国の補助制度などの紹介がありました。

(会場：区役所プラッツア)

“シナガワ” の名のついた植物、ご存知ですか？

品川は奈良・平安時代のころから交通のかねめであり、地名の由来は、品物が川のように行き来する場所であったことからついたといわれています。この地名が頭につく植物があります。

その名は「シナガワハギ」！品川に多く自生していたところから名がついたといえます。シナガワハギは江戸末期、大垣の自然科学者：飯沼慾齋(いぬまよくさい) (1782—1865) によって書かれた日本初の近代的な植物図鑑『自筆稿本 草木図説』(全20巻：1856—1862) に、当初エビラハギとして記載されました。本書には1215種もの草木が毛筆で正確に写生、彩色され、詳細な解説はリンネによる分類法と日本の本草学の知識が用いられています。慾齋没後、明治7(1874)年に『新訂草木図説』でシナガワハギ、別名エビラハギとして登場します。



『草木図説』
エビラハギ(シナガワハギ)
(大垣市立図書館蔵)

マメ科で草丈は1メートルほどにもなり、6月頃黄色い小さな花を咲かせます。ユーラシア大陸からの帰化植物といわれています。

帰化植物は日本に来た時期によって①江戸中期までに来たもの、②それ以降のもの大きく二つに分かれます。

- ①は畑や水田の雑草、
- ②は空き地や道端に生育し、どちらも私たちがなじみが多い草たちです。



シナガワハギ
これから陽を浴びて
黄色の花を咲かせます

人や物が集まる→それに伴って生き物も移動してくる→集まったその地で生息する。人が多く集まっていた品川だからこそ、この植物が存在したといえましょう。もしかしたら、あの坂本龍馬さんも見ていたかもしれません。

シナガワハギは草に匂いがあり、押し葉にすると、「桜餅」のような香りがします。この仲間にはハーブ店で「シロバナシナガワハギ」として売られているものと、外来種として「コシナガワハギ」があります。名前の通り、前者は白い花、後者は草丈60cmと小型です。

(環境カウンセラー 倉田智子氏提供)

環境学習講座 (於：品川区環境情報活動センター)

春休みこども環境学習講座
気象予報士から学ぼう～天気不思議と環境
3月20,21,22日 (講師：NPO法人気象キャスターネットワーク)

(1)「雨の不思議と大雨から身を守る方法～雨量計を作ろう」
ペットボトルを使って雲を作る実験や雨量計作りに挑戦しました。

「雨量計を作ろう」では、ペットボトル(500ml炭酸飲料用)の上半分を切りとったものに1～6cmの目盛りのついたシールを貼り付けて雨量計の完成です。



大雨などの被害を耳にすることがよくありますが、天気予報を聞き、大雨の時には危険な場所には近づかないようにしましょう。

(2)「太陽と風のエネルギーを利用しよう～風速計を作ろう」

実験ではうちわで風力発電に挑戦です。明りをともしたりメロディを鳴らすことはできましたが、扇



いでお友だちは懸命の表情でした。(上の写真はうちわで扇いでプロペラを回しています)

風向風速計作りでは紙、ストロー、竹ひごと土台の発泡スチロールを使用しました。尖った矢印の方角から風が吹いていることとなります。



(3)「不思議な天気いろいろ～夕焼け・虹・雷を作ろう」

雷を起こす実験、虹や夕焼けを見る実験を行い、さらに虹の見える万華鏡作りにも挑戦しました。

黒い画用紙にアルミホイルで絵を描いたものに電気を流すと一瞬雷が発生しました。雷が起こす集中豪雨は一瞬で川が溢れることがあります。雷の音が聞こえてきたら、雨が降ってなくてもすぐ避難しましょう。



さき布からぞうりを作ろう

4月25,29日 (ぞうり研究家 宮嶋清司氏)

家庭にある余り布や、もう着なくなった衣類を裂いてオリジナルのぞうりを作りました。限りある資源をリサイクルすることで、物を大切にすることや、創作する楽しさを多くの方々に学んでいただく講座です。

まずは各自用意した1.5m程の布を、製作台にセットした荷造り用のヒモにつま先から編みこんでいきます。続いて鼻緒と前緒作りです。



鼻緒は鼻緒用の布にヒモを入れて両サイドから強く強く撚(よ)っていきます。2日間、合わせて5時間の講座でしたが、ほとんどの方が一足仕上げられました。

捨ててしまいがちな古布もこんな風に活用できます。身近な伝統技術を多くの方に学んでもらい、リサイクルの輪を広げていけたらいいですね。

親子で楽しみながら学ぶエコゲーム

5月2日 (環境教育NPO 加宮利行氏)

「(すごろく式)エコスタイルゲーム」と「省エネカードゲーム」で、省エネや省資源について楽しみながら学ぶことができました。

「エコスタイルゲーム」では、すごろくと同じようにサイコロを振り、止まったマス目に書かれた省エネや省資源メモを読み、指示に従いながらゴールを目指しました。



「省エネカードゲーム」は家電機器の省エネ法と電気使用量の節約金額を学ぶことができるゲームです。裏向けに置いたカードの中から2枚をめくり、節約金額の大きさを知るゲームです。

楽しみながら、知らず知らずのうちに省エネや省資源について勉強しました。今日プレイしたゲームはおみやげとしてお持ち帰りいただきましたので、ご家族で楽しんでいただいたことと思います。

極寒の地に生きるシロクマと温暖化

5月23日 (講師：自然写真家 丹葉暁弥氏)

講師が毎年撮影に訪れるカナダ北部の街チャーチル。そこに生息するシロクマの写真を見ながら、シロクマと温暖化の関係について話を聴きました。今回は写真だけでなく動画でシロクマの様子を見ることができ、シロクマ好きの人には大変嬉しい講座となりました。

シロクマはアザラシ1頭で半年は生きのびられるため、夏は基本的に絶食をしています。つまり結氷寸前はお腹がペコペコなのです。温暖化により海が凍るのが遅くなると食事ができる時期も遅くなり、体力がどんどん落ちてしまいます。一方、エサを求めて街に近づき、ごみをあさるシロクマを捕獲し、生息地へ戻すことも行われています。

チャーチルのあるハドソン湾西部に住むシロクマたちは、このままだとあと30年くらいでいなくなってしまうかもしれません。かわいいシロクマを守るためにも、身近なことから環境にやさしい行動をするように心掛けましょう。



見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2010年度 Vol.2

打ち水大作戦 しながわ2010

7月31日(土) 15:30から「打ち水大作戦 しながわ2010」の“一斉打ち水”が、宮前商店街をメイン会場として開催されました。

この「打ち水大作戦 しながわ2010」は、地球温暖化やヒートアイランド現象が進んで暑くなっている都市の気温を下げるため、江戸からの暮らしの知恵である「打ち水」をして、町を涼しくしようという取り組みです。

連日猛暑が続いており、カウントダウンが始まる頃には32℃近くになっていました。



濱野区長をはじめ、皆さん揃ってのテープカットに続き、さあカウントダウン。「しながわを涼しくしよう」の掛け声にあわせ、商店街の方や子どもたちが元気に打ち水をしました。

●打ち水のルール

打ち水に使用した水は区で用意した井戸水、豆腐屋さんからの再利用水、各家庭から持ち寄った風呂の残り湯などで、水道水は使いません。

●打ち水前後の温度の変化

周囲の気温は0.8℃下がりましたが、地表面では37.4℃から30.3℃へ約7℃下がり、「涼しくなったね」という声が聞かれました。



●打ち水をすると涼しくなる理由

水(液体)を熱すると、水は熱(気化熱)を吸収して水蒸気(気体)になります。

打ち水をすると路面にまかれた水は気化熱を奪って水蒸気になりますが、その気化熱は水をまいた地面から奪つ

各地で行われている「打ち水大作戦」は、決められた時間にみんなでいっせいに水まきをすることで、地上気温を2℃下げようという地球温暖化防止のための取り組みです。



●一斉打ち水イベントは30分ほどで終了

参加した皆さんには、打ち水で使ったジョウロや水鉄砲が配られ、楽しかった打ち水大作戦は無事終了しました。



●各地で行われている打ち水では「気温を2℃下げよう」を掛け声に進められています。果たしてどれくらい温度は下がるのでしょうか。調べてみました。

品川区の「打ち水大作戦」(メイン会場)では、昨年1.3℃、今年は0.8℃下がりました。各地の報告では1~2.5℃と幅がありますが、それぞれ下がったとありました。

打ち水を行う時間帯などによって効果に差があるようですが、何よりも涼しさを体感できれば目的は達成されているはずですね。

たものです。これが涼しくなる理由です。入浴後、体をよくふかないでいると、涼しく感じることはありますが、それは体についた水滴が蒸発するときに体から熱を奪うため、これと同じ原理です。

各商店会の打ち水

今年の打ち水大会はメイン会場である宮前商店街のほかに十カ所以上の会場で、主に7月下旬から8月上旬にかけて開催されました。その中から4会場をご紹介します。

二葉中央商店会（品川区立西大井広場公園）

8月7日（土）、品川納涼祭が始まる前に打ち水大作戦が開催されました。使用する水は「雨水」で、公園の隅にある貯水層に貯められた水とのこと。納涼祭に参加する子どもたちや保護者で大変にぎわっていました。竹の水鉄砲が配られ、参加した子どもたちは4時15分の開始時刻より前にたくさん集まり、さっそく水鉄砲で水をまいていました。納涼祭は4時30分開始のため、4時15分に水を入れて待機し、その後「品川を涼しくしよう」の合図で一斉に打ち水を開始しました。大変暑い日だったので、公園の土は白く乾燥していましたが、水をまいたおかげでだいぶ涼しくなった気がしました。



戸越銀座銀六商店街振興組合

平成22年8月8日（日） 15:00～

戸越小学校5年生のサッカーチームのメンバーが参加しました。サッカーチームコーチ竹中さんの「うちみず〜！」に続き、子どもたちが大きな声で「だいさくせーん！」、打ち水大会がはじまりました。



環境にやさしい家にしました

区内の西大井のMさんは自然エネルギーを有効利用したエコ住宅にしました。

(1) 経済効果・・・太陽光パネルの設置により、春から夏を中心に余剰電力の売却が多くあり、電気料金の支払いは年額で1/2以下となりました。月によっては実質電気料金の支払いがゼロの月もあります。

(2) 温度上昇の抑制効果（やせ我慢でクーラーは使っていないとのこと）・・・太陽光パネルにより屋上の日射を遮蔽したこと、壁面の緑化により室内温度が確実に下がりました。なお、壁面緑化ではゴーヤが鈴生りで、1シーズン300本強を収穫し、近所の皆さんにも食べて頂いたそうです。

(3) 冬季の暖房費抑制・・・気泡緩衝材を窓や玄関土間の内側に取り付け、暖房機稼働時間を半減です。



武蔵小山西口商店街振興組合

こちらは商店街の皆さんが2時に自主的に水をまくスタイルです。

7月29日～8月30日までの毎週月・木曜日午後2時に行われました。



戸越銀座商栄会商店街振興組合（平塚二丁目）

環境記者の志賀さんから「水まき大作戦」の記事を投稿していただきました。

7月19日（祝）、平塚二丁目の京陽公園で「水まき大作戦」を行いました。

雨水を京陽公園地下貯水槽に貯め、町会ミニポンプ放水訓練時にも使用している水を使い、お母さんたちと一緒に放水体験もしました。

公園に常備されている土嚢を運び「大きな池」を作り、泥鯰（どじょう）つかみをしながら暑さを吹き飛ばしました。泥鯰には水道の水は適さないため、前々日から井戸水を用意し、当日に備えました。公園に遊びに来ていた幼児も参加した3時間余りのイベントでした。この後、「池」の水を使って公園に打ち水をしました。

平塚二丁目町会内には多くの井戸があり、現在も活躍（非飲料水）しています。町会会館も井戸水を使い、プランターへの散水、イベントの道具類洗い等、一年を通して使用しています。



シナガワハギがきれいな黄色の花を咲かせました

前号で「シナガワ」の名前がついた植物「シナガワハギ」をご紹介しましたが、こんなにきれいな花を咲かせてくれました。（8月16日撮影）

（環境カウンセラー 倉田智子氏提供）



夏休み子ども環境学習講座

品川区環境情報活動センターでは区民を対象とした環境学習講座を開催しております。
夏休みは子ども参加の2講座を開催しました。

自然たいけん隊 7月27,28,31日

(環境情報活動センター、しながわ中央公園)

講師：NPO法人生態教育センター村松亜希子氏、皆川紀子氏

五感を使った自然体験プログラムで、自然観察をしながら楽しく学ぶ体験型の環境学習講座です。

★1日目「みる、きく、におう、さわる、あじわう！五感で自然遊び」

写真の中の木や葉っぱに隠れている虫探し、蝉の声の聞き分け、フィルムケースに入った5種の違う葉っぱのにおいのかき分け、箱の中にある葉っぱを見ないでさわって一人づつ当ててみる、最後ははちみつの種類当てと、五感をフル活用しました。

しながわ中央公園ではいろいろなチョウとその幼虫を発見。「ふわふわしたもの(葉っぱ)」「いい匂いのするもの」など、自然宝探しゲームもしました。



★2日目「遊んで発見！植物の魅力」

動植物についてみんなどれくらい知っているかな？同じ形の葉っぱ探しや葉っぱジャンケンをしました。植物に詳しい人も、実際に葉っぱの形などの特徴を見て、それがどんな植物なのかを調べますよ。

公園にある植物を探すゲームでは、おもしろい形、赤い葉っぱなどの特徴をもった植物を探しました。

葉っぱにアクリル絵の具を塗って無地のエコバッグに押し付け、葉っぱスタンプでつくったオリジナルエコバッグが出来上がりです。

★3日目「生きものに挑戦！」

いろいろなにおいを嗅ぎ分けます。ベニザケは生まれた川のおいを覚えていて、海から川に戻るといわれています。みんな戻れたかな？音をたてないキツネの歩き方を真似しました。足の裏を「かかと→足の裏の外側→全体」の順に置くと音が出にくかったですね。

公園ではセミとアリの観察をしました。アリの巣は意外と大きいですね。アリとセミについてのクイズを行い、新しいことを勉強しました。



キッチンからはじめるエコロジー 地球にやさしい旬の料理をつくろう！

8月9,10,11日

(品川介護福祉専門学校内 調理実習室)

指導：東京ガス株式会社南部支店

エコクッキングインストラクターの皆さん

「買物→料理→片付け」、料理の際に心がけたいエコロジーに関する講座でした。

①旬の物を食べる ②なるべくごみの出ない包装を選ぶ ③生ごみはチラシで作ったごみ箱に入れる ④ガスの火はナベ底をはみ出さない ⑤ナベ蓋をする…など、覚えて習慣付けたいですね。

今回のメニューは「ドライカレー&キャロットオレンジ寒天」です。

野菜は使えるところぎりぎりまで…、捨てるのはほんの少しです。人参は皮ごとすりおろします。生ごみをチラシで作ったごみ箱に入れるのは、三角コーナーに生ごみを溜めておくと、水を流すたびにゴミが水を汚してしまうためです。水を加える時フライパンや

調理器具に残っている食べものは水を加えながら無駄なく使います。ごはんは食べられる分だけ盛りましょう。

全部の班が勉強したことを意識しながら作ることができたようです。残さず食べるのもエコロジーですね。いただきま〜す♪

お皿や容器・道具類は古布でまず汚れをふいてから洗います。こうすることで8割がた汚れが落ちたことになるそうです。水は出しっぱなしにしないで、今回はボールに洗剤を薄めて行いました。濃いままではムダに泡立過ぎてしまい、よくありません。流しは川や海に繋がっているイメージを持ちましょう。ごみを減らす、水を汚さない…習った事をすぐ実践する、楽しくおいしい講座でした。



にごみが水を汚してしまうためです。水を加える時フライパンや



環境学習講座（会場：品川区環境情報活動センターほか）

しながわ区民公園で自然とふれあおう！

5月30日（日）講師：環境カウンセラー 倉田智子氏

開園23年を経た公園は大きく育った木々に囲まれ、緑にあふれ、たくさんの生きものに出会えました。

五感を使っ
ての植物や昆虫との
出会いは、親子
でいろいろな楽
しい体験をさせ
てくれました。



品川の海にすむ魚と環境（しながわ水族館）

6月6日（日）講師：しながわ水族館 三橋孝夫館長他



水族館のバックヤードは飼われている魚や海の生物たちが生存していくために必要な作業場です。水族館では八丈島から舟で運んでくる水、京浜運河の水をろ過した水、水道水を使います。水槽のほか普段は見られない水族館のバックヤード、エサの種類、水の浄化施設などの見学ができ、水族館について一層理解できるようになりました。

エコツーリズム先進国、コスタリカの自然と野鳥を訪ねて

6月12日（土）

講師：自然観察大学副学長 唐沢孝一氏

エコツーリズムとは自然・歴史・文化など地域の固有資源を生かして観光することで、講師は昨年ツアーの指導者としてコスタリカを訪問し、そこで出会った動植物を写真で紹介していただきました。

コスタリカは中央アメリカ南部に位置する小国ですが、自然の多様さ、動植物の種類の豊富さには目を見張るばかりだそうです。たくさんの珍しい動植物の話と生きものの不思議な知恵についてユーモアを交えた話でした。



大森貝塚と縄文時代の地球環境（品川歴史館）

6月27日（日）講師：品川歴史館学芸員 白石祐司氏

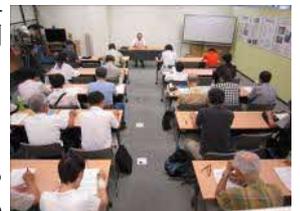


大森貝塚はすぐ東側が海岸線だったので、主食は木の実、貝や魚であったこと、また通常の集落と異なり、港のような中継地点であった可能性もあるとのことでした。豊富な資料や写真をもとに大森貝塚と縄文時代の地球環境についての講義でした。

食料問題にも環境問題がかかわっている話

7月19日（祝）講師：元防衛大学校教授 小西誠一氏

世界は多くの食料問題を抱えており、そのいくつかは環境問題と複雑に関係しています。食生活の洋風化が日本の食料自給率（約40%）を低くしており、私たちにもその責任の一端があるわけで、米食に戻る、あるいは近海魚を食べるなど自国生産物の利用を心がけることが大切という話でした。



品川区環境情報活動センター 今後のイベント予定

①「環境問題は江戸時代を見ると分かる」

江戸時代の循環型社会の思想や仕組みを知って現代に活かす話です
日時／10月17日（日）14時～16時
対象／一般

②「秋の寄せ植え」

ノコンギク、アシズリノジギク、イズオトメ等の野菊の寄せ植えです
日時／10月25日（月）13時半～15時半
対象／一般

③「ペットボトルで顕微鏡をつくらう」

飲み終わったペットボトルを使ってシンプルな顕微鏡をつくりま
日時／10月31日（日）14時～16時
対象／小学生

④「幕末の御台場埋立と品川宿」

埋立をめぐるとその後の御台場警備による品川宿への影響
日時／11月13日（土）14時～16時
対象／一般

⑤「不思議な光で実験！身近な環境を調べよう」

日時／11月21日（日）14時～16時
対象／小学生

⑥「野菜と花のコンテナガーデン」

作る・育てる・食す、それぞれの楽しみが味わえる寄せ植えです。小さいけれどマイガーデンを作りま
日時／11月26日（金）14時～16時
対象／一般

講座の名称はいずれも仮称です。

応募方法等については「広報しながわ」「品川区環境情報活動センター」のホームページにて後日掲載します。

しながわECOだより2010年度Vol.2

発行：品川区都市環境事業部

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成22年9月10日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

紅葉と黄葉

区内の紅葉と黄葉を観に公園へ、また街歩きをしました。モミジといえば池田山公園(下写真)です。鮮やかな紅が緑の木々に映え、素晴らしい紅葉観賞になりました。



一方、春の花としてはもちろん桜ですが、この時期紅葉も楽しませてくれます。桜の木は区内各地にありますから、目に触れる機会は多いと思います。



目黒川沿い



東品川海上公園

沿いのイチョウはその存在を誇らしげに見せているようです。

晩秋に黄色がまぶしいイチョウの黄葉も紅葉に負けていません。公園や神社仏閣、道路



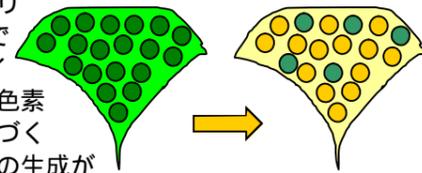
区役所前

海徳寺

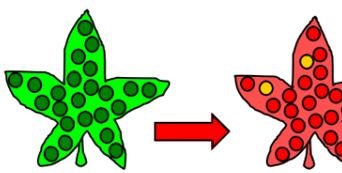


モミジ サクラ イチョウの葉は、いずれも1年の多くは緑色です。なぜこの時期に紅色や黄色に変わるのでしょうか。

葉の中にはクロロフィル(葉緑素)という緑色の色素がいっぱいあり、そのために緑色に見えます。またクロロフィルより量は少ないのですがカロチノイドという黄色の色素もあり、冬が近づく



とクロロフィルの生成が抑えられ分解されて、カロチノイドの黄色が目立ってくるため、葉が黄色く見えるようになります。



一方、紅葉は多少しくみが異なります。植物は光合成で葉にデンプンを作り、やがて糖に分解されます。この糖から赤色系の色素であるアントシアニンが合成され、分解されたクロロフィルの緑色に変わってアントシアニンの赤色が目立つようになります。



区内、お住まいの近くの紅葉や黄葉の写真がございましたら、一言コメントを加えて下記品川区環境情報活動センター宛メールでお送りください。ホームページ(HP)に掲載させていただきますこととさせていただきます。

品川区環境情報活動センター 今後のイベント予定

「イワトビペンギンのくらし」

険しい岩壁の上に営巣するイワトビペンギンの生態を紹介します。

日時/1月23日(日)14時~16時

対象/一般

「牛乳パックではがきをつくらう」

飲み終えた牛乳パックを使って紙すきをし、はがきを作ります。

日時/2月9日(水)13時半~16時

対象/一般

「飛び出せ! 3Dを科学する」

LEDと身近にある道具を使って3Dを手作りします。

日時/2月20日(日)14時~16時

対象/小学生

「海へつながる私たちの暮らし」

~しながわの海をとりもどそう

東京湾の漁業を盛んにすること、地産地消で東京湾の水質改善を図ること

とができます。

日時/2月27日(日)14時~16時

対象/一般

「春の寄せ植え」

サギ草にベニチガヤを添えた寄せ植えです。

日時/3月11日(金)13時半~15時半

対象/一般

春の子ども環境講座

「気象予報士から学ぼう」

~天気不思議と環境

雨の不思議と大雨から身を守る方法」~雨量計を作ってみよう~

「太陽と風のエネルギーを利用しよう」~風速計を作ってみよう~

「不思議な天気いろいろ」~夕焼け・虹・雷を作ってみよう~

日時/3月19,20,21日、14時~16時

対象/小学生

講座の名称、日時等はいずれも予定です。内容、応募方法等については「広報しながわ」や「品川区環境情報活動センター」のホームページにて後日掲載します。

しながわECOだより2010年度Vol.3

発行:品川区都市環境事業部環境課

編集:特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日:平成22年12月15日

住所:〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX:03-5742-6533

E-mail:center@shinagawa-eco.jp

HP:http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう



品川区環境情報活動センターだより

2010年度 Vol.3

みどりと花のフェスティバル

「みどりと花のフェスティバル」がさわやかな秋空の下で開催され、さまざまなイベントが参加した人を楽しませてくれました。

9月25日(土)、26日(日) 東品川海上公園
テーマは「公園の植物とのふれあいを楽しみましよう」です。

苔玉作り

土台になる苔と苗が用意されており、苗は屋上庭園の株分けをしたものです。親子での参加がありましたが、お母さんが一生懸命でした。



苗の販売

公園内の植物を株分けして育てたレンゲ、レンガラス、スパミントなどのハーブの苗を中心に販売されました。ハーブティの試飲もありました。



ガーデンツアー

屋上庭園に植えている季節の花について、この花壇を監修している方やガーデナーの説明がありました。



その他、竹とんぼや押し花作りにも多くの参加がありましたが、「どうやって飛ばすの?」と竹とんぼについて聞く子もいました。

10月16日(土)、17日(日) 西大井広場公園
テーマは「いのちのふれあい」です。



最近の都会の生活ではやや遠い存在になったヤギ、羊、ウサギなどのふれあいができました。ウサギと戯れる子どもたちの輝いた目が印象的でした。動物と楽しんだ後は公園の砂地を元の状態に戻さなければなりません。世話をしてくれた方たちが、ふん尿などの汚れを抗菌加工砂できれいにしてくれました。

木の輪切りを使っの工作コーナーには親子での参加がありました。絵の具やボンドを使って思い思いの作品が出来上がりました。



10月23日(土)、24日(日) しながわ区民公園
テーマは「緑と音楽と自然」です。

こちらでも親子で楽しめる工作教室が人気で、多くの家族が参加しました。公園にはとち、しい、くぬぎなど、さまざまなどんぐりがあります。これらを使った工作でどんぐりとのふれあいも楽しかったですね。いっぱい集められたどんぐりは、自由に持って帰られるようにしてありました。

東京大学民族愛好会の皆さんによる民族音楽の演奏がありました。「コンドルは飛んでゆく」や「花祭り」など親しみの



ある曲の演奏があり、皆さん楽しいひと時を過ごしました。

環境記者 活躍中 第13回環境記者情報交換会開催

11月11日(木)、第13回環境記者情報交換会が8名の環境記者ほかの出席のもとで行われました。

この夏の暑さは植物にも大変だったようで、ドク'ツツ'が咲く時期を間違えて季節はずれの花を咲かせていました。ツツ'は猛暑で葉が落ち、9月中頃には涼しくなり10月初めに暑さが戻って、春が来たか勘違いしたのでしょうか。



インタメディア代表の佐山吉孝氏から「昔のおもかげを探してまち歩き/その五、大崎駅前から百反坂周辺」と題してお話をいただきました。再開発が進んだ大崎駅前も少し入れれば狭い路地があり、昔ながらの建物や風景が見られます。新しいビルが建てられていますが、駐車場に施された緑化やビルとビルの中の植栽など、少しでも環境に配慮しようとしている様子が伺えます。



私のお気に入りの場所は、大崎駅前のシ'ク'の庭で、秋にはス'キ、ホ'ト'キ'ス、ノ'コ'キ'クなどが素晴らしいです。我が家の花々に今年も水やりをしたのですが、猛暑のために足りなかったようで、かなり枯れてしまいました。



自宅の庭にビニールバケツを置いて槇の木を育てていたところ、突然小さな植物が誕生しました。それはなんとぶどう科の植物でした。たぶん鳥が種を運んできたのでしょう。それから5年目の昨年、実をつけるまでになり、近所の子供さんや保育園の園児さんに食べていただいて喜んでもらいました。

相変わらずですが、JR五反田駅から'ゆうぼうと'へ行く通りを歩く際に、歩道ごみ拾いなどを行っています。五反田周辺では、残念なことに業者の貼り紙が目立ちます。



最近、生活のなかで感じることは無機質なものの多さです。生き物を大切にしようという気持ちがほしいものです。

毎週福島県へ行ってキノコと野菜を作っていますが、これを17年続けています。野菜は化学肥料を使うことなく、落ち葉、堆肥など全部自然の肥料で作っています。区内では西中延三丁目町会では皆がボランティアで資源回収(毎月3回)をしています。また自分としてはなるべくごみを出さない活動をしています。



10月、環境情報活動センターのこども環境講座で、日ごろ全国で開いている科学実験教室のインストラクターとともに講師をさせていただきました。子どもさんに限らず大人の方にも環境についてお話できる機会があればと思っています。

私が勤務している会社では2008年から環境方針の中に「生物多様性」という言葉を記述し、その保全活動をするようになりました。また地域の小学生などに環境に対する情報を紹介しています。



学生環境記者も活躍しています

11月14日(日)しながわ花海道で菜の花の種まきが行われました。しながわ花海道では毎年7月頃に種をまいたコスモスが秋にはきれいに咲き誇り、それを刈り取った後に菜の花の種まきをします。3月には勝島運河の土手一面を黄色い菜の花が敷き詰めてくれることでしょう。



(コスモ) 平成22年秋 (菜の花) 平成22年春

ここで立正大学の学生さんが一役買っています。立正大

学地域連携支援室に所属する皆さんは地域連携活動の一環としてさまざまな地域のイベントに参加しています。

環境記者の坂本美波さん(下写真左から3人目)はその一員で、今回の種まきに参加しました。

「お天気に恵まれ、良い汗をかき、様々なことを学びながら畑仕事ができました。雑草だらけだった立正大学の畑も綺麗な菜の花を咲かせる準備が整いました。草花だけでなく虫や鳥もたくさんいて、品川区という'都会'のなかにいることを忘れさせてくれます」との報告をいただきました。



「お天気に恵まれ、良い汗をかき、様々なことを学びながら畑仕事ができました。雑草だらけだった立正大学の畑も綺麗な菜の花を咲かせる準備が整いました。草花だけでなく虫や鳥もたくさんいて、品川区という'都会'のなかにいることを忘れさせてくれます」との報告をいただきました。

環境学習講座 会場：品川区環境情報活動センターほか

トラと生きる・ネコと暮らす
～街・動物園から野生まで (8月26日)
講師：動物園ライター 森由民氏

トラをはじめとしたネコ類を中心に、環境に適応した分化について、また人間の活動がトラやツシヤマネコなどに及ぼしている影響についてお話していただきました。

人間の生活が豊かになり、また人間がより便利さを求めて山や森の開発をし続ければ、野生生物が生きる場を失うことに繋がります。人間を含めた地球上のすべての生物がこの大地の中でうまく調和し、共存できるような生き方がどうしたらできるかを考えさせられる講座でした。



ペットボトルを利用してウォータートルネード(水の竜巻)を作ろう! (10月3日)
講師：学研科学インストラクターのみなさん

ペットボトルをリサイクルする前に、環境について学習できる楽しい実験をしてみましょう。ペットボトルに入っている水を早く出すために「水の竜巻」を作ります。この原理がトルネードに応用されています。トレットペーパーとティッシュペーパーを水の入ったコップに入れて箸でかき混ぜます。トレットペーパーはパパラになりませんが、ティッシュペーパーは箸からみつき、かたまってしまいます。トルネードではティッシュペーパーは使わないようにしましょう。私たちが毎日お世話になっているトルネード、やさしく使しましょう。



季節を感じるリサイクルアート
～さき織りの平織りで作る小物 (10月8日)
講師：アートディレクター 竹中信子氏

さき織りとは江戸時代中期、厳しい北国の生活から生まれた技術で、着古した着物や古い布を細く切り裂き、はた織りをして新たな布を作る技法です。今回はタペストリーを作りました。



環境問題は江戸時代を見ると分かる
(10月17日)
講師：日本国際戦略問題研究所 所長 津田慶治氏

今日の日本は資源小国といわれていますが、江戸時代は世界的な鉱業国家であり、銅や銀は世界の1/3を産出していました。いずれ石油が採れなくなり価格の高騰が予想され、石油に代わる燃料も高価なものになると言われています。日本には資源がないから、埋まっている資源を掘り出すのではなく「資源を作る」という考え方が出てきます。相対的にリサイクル費用が安くなりますが、その場合携帯電話やペットボトルなどのリサイクル資源は都会にあり、世界最大の「鉱山」は東京になるでしょう。



秋の寄せ植え (10月25日)
講師：林秋江氏(秋草会会員)

非常に人気の講座で、今回も多数のご応募をいただきました。使用した草花は3種類の菊、コギク、アズリリジキク、乙立寒菊とイタダキです。

講師から寄せ植えの基本ポイントや草花の特徴、用土、日当たり、配置の仕方などの説明があり、続いて実習です。網や針金を使い草花の配置やバランスなどを調整しながら作りあげていきます。たっぷり水やりをして、表面に苔を張ればできあがりです。



ペットボトルで顕微鏡をつくろう! (10月31日)
講師：インタープリター 仲上美和氏

普通の顕微鏡は2つのレンズからできていますが、今回は1つのレンズを使います。主な材料は丸型のペットボトルとキャップ、直径2mmくらいの非常に小さなレンズ(ガラス玉)です。

まずキャップの真ん中に小さな穴をあけそこにガラス玉をはめ込みます。顕微鏡の台は右写真のようにボトルの肩の部分から上を切り取り、次にプラットフォームを作ります。ボトル側面を一辺1cmの正方形に切り取り、花粉など観察するものをセロテープにつけ、先に1cm角に切り取ったものに貼り付けます。それをキャップの内側にしっかりとめ込みます。キャップを締めて出来上がり。うまく作った友だちの中には170倍くらいの倍率が得られたと思います。



見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2010年度 Vol.4

しながわ環境大賞決定

平成23年2月19日(土)
きゅりあん小ホール



しながわ環境大賞の授賞式が、2月19日(土)きゅりあん小ホールで行われました。しながわ環境大賞は平成18年度に創設された賞で今回が5回目です。この賞は品川区内で優れた環境活動を行っている団体等を顕彰し、その内容をみなさんにご紹介することにより、環境活動を広げていくことを目的としています。

環境大賞受賞者の活動をご紹介します



●なぎさの森おーいにボランティア

「なぎさの森おーいにボランティア」

通称「なぎボラ」は大井ふ頭中央海浜公園なぎさの森において、来園者に気持ちよく公園を利用してもらうことを目的に活動をしています。

森林・干潟・海辺の清掃、下草刈りやつる取り、堆肥づくりなどを月に3回、親子自然観察会を年2回行っており、環境イベントにも参加しています。

緑による地域コミュニティの活性化を中心としたボランティア活動に取り組んでいます。



●伊藤チャイム

「誰でもその日はミュージシャン」

伊藤チャイムは音楽や本を通じて子どもたちの育成活動を行っており、環境に関する童話を題材にした舞台の創作活動に取り組んでいます。それは独自の方法で、子供達が順番に環境をテーマにした童話を朗読し、トーンチャイムという楽器で音楽を重ねていくというものです。

トーンチャイムとはパイプの形をしたハンドベルの一種です。高齢者施設や障害者施設など福祉施設を訪問し、ボランティア活動を行っています。



●イオンリテール株式会社

ジャスコ品川シーサイド店

「クリーンデー 従業員全員で取り組む地域清掃活動」

ジャスコ品川シーサイド店では、毎月5日間で「クリーンデー」とし、品川シーサイドフレット周りと青物横丁駅方面道路のいずれかを、各個人の可能な時間内で清掃活動を行っています。また古本のチャリティ販売の売り上げで花の苗を購入し、近隣の小学校へ贈呈しています。地域の皆様と共存でき、地域から必要とされる店づくりを目指して活動しています。

環境賞

- 今井学院
「男の料理 環境問題は一人ひとりの実践から」
- 二和印刷株式会社
「気持ち一つで出来るエコ
みんなで守ろう二和の和で」
- 寿々和会
「みどりと花のボランティア 寿々和会」
- エバグリーンの会
「グリーンカーテン作戦」
- 区立城南中学校（生徒会）
品川小学校・台場小学校（児童会）
「城南地区ECO作戦」
- 区立大井倉田児童センター
「えこえこまつり エコであ〜すデイ」



石原良純さんの講演もあり、盛会のうちに環境講演会としながわ環境大賞の授賞式が終了しました。

品川区の「木・花・鳥」 ご存知ですか？

品川区の「木・花・鳥」は1978（昭和53）年に定められました。シイノキ・カエデ(木)、サツキ(花)、ユリカモメ(鳥)です。今回は「シイノキ」をご紹介します。

自生地では成長すると20mを超えるシイノキ。南品川の大龍寺には、樹高10m、樹齢は200年と推定されるシイノキがあります。区の指定文化財になっています。



大龍寺の
シイノキ

「シイノキ」とよんでいますが、植物図鑑での名は「スダジイ」といいます。こんもり繁って、冬でも葉は緑色、濃い緑はどっしりと存在感があります。葉っぱの表面はつやがあり、裏側はメタリックな茶色、色の対比がとてもきれいです。



初夏の花は、遠目にはまるでカリフラワーのよう、近くで見ると房が長く、かんざしを想像してしまいます。これはじつは雄花です。秋、3つに割れたカプセルの中においしいそうな実がのぞきます。「シイノミ」です。

まだ寒い盛りの2月には、木の上の方にツンツン伸びた枝が目につきます。新芽かしらと目を凝らすと、小さな実が見えます。花が咲いたその年に実るのではなく、2年かかって「シイノミ」になるのです。



真冬のシイノキ「一年目の果実」

シイノキは「椎茸の原木」と図鑑に記されています。現在、椎茸の原木栽培は「コナラ」や「クヌギ」が主力です。シイノキは木の材質が硬いので、キノコの発生は遅いのですが、良質なものが収穫できるとのことです。

（環境カウンセラー 倉田智子氏提供）

険しい岩壁の上に営巣する イワトビペンギンの暮らし（1月23日） 講師：ペンギン写真家 鎌倉文也氏

南アメリカ大陸最南端にあるホーン岬の北東、大西洋上にあるイギリス領の諸島、フォークランド諸島に棲むイワトビペンギンについての話です。



険しい岩の上をピョンピョン跳んで歩く姿からこの名が付けられたようです。イワトビペンギンの特徴はなんと

「赤い目」にあります。彼らの外見からは厳しい自然に果敢に立ち向かっていく勇ましさを感じられます。雄雌が協力してヒナをかえすと、親鳥は餌を確保するために荒波の中に飛び込んで行きます。



イワトビペンギンの生活は自然の恐怖である天敵のほか、今日では「石油開発における油汚染」、「温暖化による餌の採れる場所の減少」などに脅かされています。今後彼らの生息環境への影響が懸念されます。

牛乳パックで「はがき」を作ろう（2月9日） 講師：市民グループ「全国牛乳パックの再利用を考える連絡会」「全国牛乳容器環境協議会」

牛乳パックリサイクルの現状についての講義に続いてDVDの上映、牛乳試飲、容器の開き方、手すきはがきの作り方と盛りだくさんの講座でした。1984年一人の主婦の「もったいない」という考えから始まった牛乳パックのリサイクルですが、今日では回収ルートや「洗って、開いて、乾かして」というルールも知られ、リサイクルの輪が広がっています。



紙パックの回収率は1994年度の19.9%から、2009年度は43.5%へと伸びていますが、まだ半分以上は捨てられているのが現状です。

【はがきの作り方】



- ①紙パックの重なっているところに指を入れてはがしてゆく
- ②パルプ液をよくかき混ぜる
- ③細かくゆらして厚さを均一にする
- ④アイロンは湯気が出るまではしっかり押さえ、乾いて

きたら均等にかける。さあ出来上がりです。

牛乳パックを「洗って、乾かして」リサイクルするのは日本独自のスタイルで、世界でも例のない独自のリサイクル方法だそうです。



飛び出せ！3Dを科学する（2月20日） 講師：科学技術振興機構・ポラテア講師 久保利加子氏

最近映画やテレビで話題の3Dや、省エネで力を発揮するLEDで光の不思議を体験しました。

●3Dってどうして飛び出しているのでしょうか？

「赤青メガネ」で見るとそれぞれ赤・青の色の物だけが見えるので、赤と青の棒（光のつもり）の交わったところ（手前）に、物体があるように思えます。だから飛び出して見えるのです。



●3Dの絵を自分で描いてみよう

傘の絵が描いてあるカードが配られ、そこに赤と青のペンで雨粒を少しずつ描きます。これを「赤青メガネ」

で見ると雨粒が浮かんで、あるいは沈んで見えました。

●LEDを使って光の三原色とその利用について学びました

最近交差点の信号機がLEDに変わりつつあります。その理由はこれまでの電球と比べると消費電力が非常に少なく、省エネ効果が大きいからです。LED信号機はよく見ると小さな点が沢山集まって見えますが、一つひとつがLEDです。



●どれが白熱電球、電球型蛍光灯、LED電球でしょうか？

3つの電球の違いはなんとと言っても発熱量の違いです。それぞれの電球に手を近づければわかります。白熱電球は点灯した直後から熱いのですが、それだけ多くのエネルギーを使っているということです。熱くなっているので電球に直接触れてはいけません。しかしLED電球は熱くなりませんでした。



●まとめ

最近よく耳にする3Dですが、いろいろな道具を使って立体感を体験しました。「赤青メガネ」を使うとなぜ3Dに見えるのか、また省エネの代表でもあるLEDについてもみんなが参加しながら学びました。

環境学習講座のご案内 皆さまのご応募をお待ちしています

①さき布から「ぞうり」を作ろう

(中学生以上)

家庭にあるさき布を使って「オリジナルぞうり」を作ります。

(2日間で完成します)

日時／4月24日(日)、29日(祝)
14時～16時30分

②いろいろな色が見えてくる!?

エコで不思議なコマ作り

(小学生)

使われない木材を使ってコマを作ります。回すとあら不思議!色が変わって見えます。

日時／5月22日(日)14時～16時

③見よう・聞こうよ～ガラパゴスの自然

(一般/親子での参加も歓迎)

ダーウィンの進化論で知られた南米エクアドル領、赤道直下の諸島での体験談を写真を通して紹介します。

日時／5月29日(日)14時～16時

④身近な生きものウォッチング

(一般)

トンボ、チョウ、カエル、鳥などの生態と共存についての楽しいお話です。

日時／6月4日(土)14時～16時

⑤親子で楽しめる折り紙教室

(小学生と保護者)

折り紙やチラシを使って動物指人形や二十四面体などの多面体を作ります。

日時／6月12日(日)14時～16時

⑥エコロジー社会だった「江戸」の市民生活の実情を探る

(一般)

江戸のエネルギー使用、衣食住、ごみ処理など、江戸時代の生活はこのようでした。

日時／6月18日(土)14時～16時

⑦手洗い新習慣はじめよう

(4歳以上の児童と保護者)

ブラックライトを使ってきれいな手洗いができているかどうかを確認します。正しい手洗いの習慣を身につけましょう。

日時／6月26日(日)14時～16時

【夏休み前・小学生向け環境講座】

⑧うすく削った間伐材を使ってエコ工作をしよう (小学生)

森にすむ動物やその役割を知り、間伐材で鞠(まり)の形になる「球体」などを作ります。

日時／7月3日(日)14時～16時

⑨牛乳パックでポンポン蒸気船を作ろう (小学生)

牛乳パックを利用して水蒸気の力で水面をスイスイ走る蒸気船を作ります。

日時／7月17日(日)14時～16時

★夏休み子ども環境講座

●生き物博士になろう(7月)

●キッチンからエコロジー(8月)

講座の開催日、名称等はいずれも予定です。内容、応募方法等については「広報しながわ」、「品川区環境情報活動センター」のホームページにて後日掲載します。

「もったいない・・・」の気持ちを大切に

リサイクルショップ

「リボン」をご存知ですか?

「リボン」はNPO法人「エコタウンしながわ」が品川区の協力を得て運営しているリサイクルショップで、旗の台店と大井町店があります。



旗の台店

「ものを大切に使う」をテーマに

洋服、バッグ、雑貨や家具など、ご家庭にある品物の買い取りや委託販売をしています。

「捨てるのはもったいない」、「ご縁があれば他の方に使っていただきたい」そんな品物がありましたら「リボン」をご利用ください。



お買い得品や掘り出し物をいろいろと揃えています。

「リボン」では、みなさまのご来店をお待ちしています。

詳細はそれぞれの店にお問い合わせください。

旗の台店 03-5498-7803

大井町店 03-5742-6933



大井町店

品川区環境情報活動センターを利用しませんか

●センターのご利用について

環境に関する活動をする団体もしくは個人どなたでも無料でご利用いただけます。セミナー(会議室)の他、数人

の方でご利用いただけるミーティングテーブル、環境に関する書籍・雑誌等を備えた資料コーナーがあります。



セミナーの予約については当センター窓口、あるいは下記ホームページで受け付けています。

(<http://shinagawa-eco.jp/>)

しながわECOだより2010年度Vol.4

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成23年3月22日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

臨時増刊号

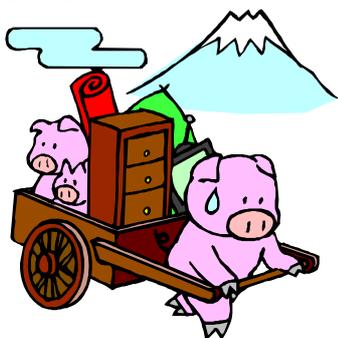
見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわECOだより

品川区環境情報活動センターだより

11月1日(月)リニューアルオープン 品川区環境情報活動センター移転のお知らせ

品川区環境情報活動センターは11月1日(月)、品川区役所第二庁舎3階から第三庁舎3階に移転しました。これからも皆様が環境について楽しく学べる講座を開催し、またホームページ等での環境情報の発信に努めてまいります。環境図書の閲覧やセミナールームのご利用(要予約)ができますので、是非ご来館ください!!



本年度 今後の講座予定

小学生を対象に環境と科学を学ぶ講座、一般の方には寄せ植えで花に親しんでいただける講座など、親しみの持てるテーマで環境について学んでいただく講座を用意しています。

11月～来年3月の講座予定をPage2に掲載しています。

ご応募をお待ちします。



J R 京浜東北線/りんかい線大井町駅 徒歩7分
東急大井町線下神明駅 徒歩5分

平成22年度 環境学習講座実績および開催予定

開催月日	講座名	対象
4/25・29	さき布から「ぞうり」を作ろう	一般
5月2日	親子で楽しみながら学ぶエコゲーム	親子
5月23日	極寒の地に生きるシロクマと温暖化	一般
5月30日	しながわ区民公園で自然とふれあおう！	親子
6月6日	品川の海にすむ魚と環境	親子
6月12日	エコツーリズム先進国、コスタリカの自然と野鳥を訪ねて	一般
6月27日	大森貝塚と縄文時代の地球環境	一般
7月19日	よく分かる「食料問題にも環境問題がかかっている話」	一般
夏休みこども環境講座	自然たいけん隊	小学生
	キッチンからはじめるエコロジー！	小学生
8月26日	トラと生きる・ネコと暮らす～街・動物園から野生まで～	一般
10月3日	ペットボトルを利用してウォーターボトル（水の竜巻）を作ろう！	小学生
10月8日	季節を感じるリサイクルアート～ さき布の平織りてつくる小物～	一般
10月17日	環境問題は江戸時代を見ると分かる	一般
10月25日	秋の寄せ植え	一般
10月31日	ペットボトルで顕微鏡をつくろう！	小学生
今後の開催予定（＊）		
11月13日	幕末の御台場埋立と品川宿（その2）	一般
11月21日	不思議な光で実験！身近な環境を調べよう	小学生
11月26日	野菜と花のコンテナガーデン	一般
12月12日	どんぐりカレンダーをつくろう！	小学生
12月16日	お正月の寄せ植え	一般
1月23日	イワトビペンギンのくらし	一般
2月9日	牛乳パックではがきをつくろう	一般
2月20日	飛び出せ！3Dを科学する	小学生
2月27日	海へとつながる私たちの暮らし～しながわの海をとりもどそう～	一般
3月	春の寄せ植え	一般
春のこども環境講座	気象予報士から学ぼう～天気不思議と環境～	小学生

さき布から「ぞうり」を作ろう（4/25・29）



しながわ区民公園で自然とふれあおう！（5/30）



エコツーリズム先進国、コスタリカの自然と野鳥を訪ねて（6/12）



大森貝塚と縄文時代の地球環境（6/27）



夏休みこども環境講座

～自然たいけん隊～（7/27・28・31）五感を使った自然体験プログラムで、自然観察をしながら楽しく学ぶ体験型の環境学習講座でした。



～キッチンからはじめるエコロジー！
地球にやさしい旬の料理をつくろう～（8/9・10・11）



（＊）12月以降の講座について、開催日、名称等はいずれも予定です。内容、応募方法等については「広報しながわ」「品川区環境情報活動センター」のホームページにて後日掲載します。

しながわECOだより 2010年度臨時増刊号

発行：品川区都市環境事業部
編集：特定非営利活動法人
エコタウンしながわ
発行日：平成22年11月1日
住所：〒140-8715
品川区広町2-1-36
品川区環境情報活動センター内
TEL/FAX：03-5742-6533
E-mail：center@shinagawa-eco.jp
HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています